

沿革

AASA (Association of Academies of Sciences in Asia) と FASAS (Federation of Asian Societies and Academies of Sciences) が合併し、2012年(H24年)に設立

目的

- ・アジア・オセアニア地域の科学技術の発展に寄与すること
- ・社会経済発展のための科学技術、研究開発、技術応用に関する協議と助言を目的とする場として機能すること

組織

・30カ国・地域の32機関が加盟

・IAP傘下の地域ネットワーク(欧州、アフリカ、米大陸、アジア太平洋)のうちの1つ。原資はIAPからの補助金(65%)と加盟機関からの分担金(35%) ※事務局人件費を除き算出

IAP (InterAcademy Partnership)

IAP Regional Networks

Europe(EASAC), Americas(IANAS), Africa(NASAC)

Asia/Pacific(AASSA)

AASSA

General Assembly 総会(3年に1回)

Executive Board 役員会(1年に1回～)

役員：10名(役員の外にDirector(事務局長))
President, President-elect, Vice President, Treasurer, Members-at-Large 5名

加盟機関

対象 科学技術・イノベーション分野

加盟単位 国代表制要素が強い(原則1カ国1機関のみの加盟)

加盟機関の国・地域

アフガニスタン、アルメニア、オーストラリア、アゼルバイジャン、バングラデシュ、中国、ジョージア、インド、インドネシア、イラン、イスラエル、日本、ヨルダン、カザフスタン、韓国、キルギス、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、ロシア、シンガポール、スリランカ、タジキスタン、タイ、トルコ、ウズベキスタン、ベトナム

事務局機能

事務局機能は韓国(KAST)が担い、President(会長)・Director(事務局長)は共に韓国(KAST)会員が務める

特別委員会

役員会の決議により設置

- (1) Sustainability (2) Science Education
- (3) SHARE (4) WISE Committee

*Science, Health, Agriculture Risk and Environment
*Women In Science and Engineering

日本学術会議より全ての委員会へ会員等を推薦し、委員として任命されている

開催実績

Regional Workshop(年4回～、以下WS)開催、内1回で役員会(総会)が同時開催
役員会(総会)実績：オンライン役員会(2020)、韓国役員会(2019)、バンコク総会(2018)
2019年地域ワークショップ実績：インド、スリランカ、パキスタン、韓国
2020年Webinar実績：National Academy's Response to COVID-19
Plastic Pollution : Causes, Effects and Solutions

開催予定(2021年)

AASSA総会(2021年10月開催)